

【第 108 回対策本部会議】 11 月 15 日

健康福祉部長／13 日の感染者 1 人は、その後の 2 回の PCR 検査で陰性が確認され、本日、発生届けが取り下げられた。その結果、5 日間続けて感染者が出ていない。これは、2 月 18 日以来、270 日ぶり。しかし、ウイルスがいなくなったわけではない。今後も、接触者の調査、検査を万全に行い、感染を囲い込んでいく。

現在の病床使用率は 1.5%、ホテル使用率は 0.2%。この状況が続くよう、基本の感染予防対策の徹底をお願いしたい。

政策部長／12 日に決定した、国の「次の感染拡大に向けた安心確保のための取組の全体像」の概要を説明する。基本的考え方は、大きな 2 つの柱。

- ・コロナの感染力が 2 倍となっても対応できるよう、医療提供体制の強化などを進める
 - ・感染リスクを下げながら、経済社会活動の継続を可能とする新たな日常を実現する
- もし、感染力が 3 倍以上となった場合、飲食店の休業に加え、公共交通機関のダイヤの大幅見直しなど機動的に強い行動制限を行う、とも記載されている。

2 つの基本的な考え方の具体的な内容は 4 つ。

1. 医療提供体制の強化
 - ・病床の確保
 - ・臨時の医療施設の整備
2. ワクチン接種の促進
 - 12 月から 3 回目追加接種の開始
3. 治療薬の確保
 - ・経口治療薬の年内実用化
 - ・複数の治療薬の確保
4. 国民の仕事や生活の安定・安心を支える日常生活の回復
 - ・PCR 検査の無料化
 - ・ワクチン接種証明書を年内にデジタル化
 - ・感染状況を評価する新たな基準の考え方

こうした取り組みとともに行動制限の緩和も記載されている。これまでとの違いは、ワクチン検査パッケージを活用すれば、イベントの定員を 100%まで認められるというもの。内容は、基本的対処方針が改定される、あるいは、ワクチン検査パッケージ制度要綱が決まれば具体的になるだろう。

また、感染状況を評価する新たな基準の考え方は、今まで国は新規感染者数などから判断

していたが、今後は、医療の逼迫状況を重視して評価する。このステージは、現在の4段階から5段階に変更する見込み。これによる本県の取り組みに、大きな変更はない。

知事／ワクチン接種も広まり、全国的に感染者が減少してきたので、日常生活を回復するよう少しずつハードルを下げていく。とはいえ、第6波に対し、医療提供体制の確保、感染が拡大した場合には厳しい措置も講ずるという考え方。

政策部長／基本的な考え方で、感染力が2倍までは対応します。そして、対策をしながらコロナ前の日常生活を取り戻す。ただし、3倍の場合は、もっと厳しい行動制限をかけると。

知事／国は、感染力が2倍、3倍と数値化して合わせようとする。本県は、県民に対してのメッセージを実情に合わせ、できるだけ分かりやすく伝えたい。

イベントは、例えば駅前不動産スタジアムだと2万人を超えてもいいということか。

政策部長／これまでは50%だったが、コロナワクチン接種が済んでいれば、2万人入れていい。SAGAアリーナも100%の8,400人。

新型コロナウイルス対応医療提供体制強化本部事務局長／6波に向けた取組状況を説明する。冬に向けて、病床は545床を確保。うち、臨時の医療施設分は50床。この病床数は、人口10万人当たりになると全国で3番目に多い。また、宿泊療養は615床を確保した。

プロジェクトMは、通常診療とコロナ診療のバランスを取り医療機関に過剰な負担をかけないこと、大切な命を守るために進めてきた。この冬も、これがうまく機能するよう、状況を見ながら機動的、戦略的に対応していきたい。

知事／ここ5日間は、感染者数ゼロが続き、感染は落ち着いているが、2週間に1度程度は、対策本部会議を開催し、情報共有をしていきたい。

状況が落ち着いているとはいえ、第6波に向け準備をしている。プロジェクトMのオペレーションがうまくいくよう、先手先手で対応していく。

ワクチン接種は、12歳以上の約85%の接種が完了した。12月以降は、3回目のワクチン接種が始まる。報道では、2回目から8か月後とも6か月後とも言われているが、ワクチン接種希望者に、順次接種が行えるよう全力を尽くす。

ワクチン接種証明書があれば、これまでより自由に移動できるようになる。接種証明書のデジタル化の詳細がわかれば、改めてお知らせする。また、ワクチン接種ができない体質の人には、来年3月まで無料で検査ができる国の方針を示した。こちらも内容を整理したのち、説明する。

感染状況の指標が、「レベル」という言い方に変わり、基準の見直しもされるようだ。本県では、もともと医療機関の病床の占有率を主な指標としながら、実態の分析結果に基づいてステージの判断をしていた。現在は、レベル1。

おいし〜と食事券「やっぱり佐賀が好き」は完売した。「支え愛宿泊キャンペーン」は、6割程度の利用にとどまっている。ぜひ、この機会に県内の宿泊施設の利用、特に平日利用の支え愛をお願いします。贈答品の県内利用もお願いします。

改めて、医療従事者の皆さん、さまざまな現場の皆さん方に感謝申し上げます。8月と9月が多忙だった県や市町の職員を含めた皆さん方は、感染が落ち着いている間にしっかり休んでください。

誹謗中傷は、行わないよう願います。佐賀県は、これからも真っ直ぐに取り組んでいきたい。